

## 届出書類作成の留意点及び代表的な修正依頼の内容

届出書	<p>地名地番は「〇〇〇■丁目▲番地▲」と記載してください                      ※■は漢数字、▲は算用数字                      新築の場合、住居表示は「〇〇〇■丁目▲番（以下未定）」と記載してください                      ※■は漢数字、▲は算用数字</p>
	<p>工作物の場合、「高さ」の欄に地盤面から工作物下端までの高さを併記してください</p>
委任状	<p>押印は省略することができますが、委任者の意思確認をさせていただくことがありますので、必ず委任者の連絡先を記載してください。また、トラブル防止のため、委任者・受任者間で押印の可否を判断してください。</p>
建物概要及び チェックリスト	<p>2計画概要                      建蔽率、容積率は小数点第3位以下を切り上げて第2位まで表示してください</p>
	<p>(4) 敷地面積の最低限度                      既存敷地面積に対して計画敷地面積が変化している場合は、欄外にその理由を記載してください</p>
	<p>(8) 建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限                      外壁の色は具体的な色名を記載してください</p>
付近見取図	<p>方位を表示してください（「北」または「N」の表示で構いません。以降の図面同様）                      「真北」として表示する場合は、測定方法を併記してください</p>
	<p>地図は道路区域、街区線が鮮明なものとしてください</p>
	<p>申請敷地を網掛け等で明示してください</p>
	<p>地名地番、住居表示を記載してください</p>
面積表	<p>求積図は不要です。削除してください</p>
	<p>用途別、階別の面積表を表示してください</p>
	<p>合計面積は小数点第3位以下を切り捨てて第2位まで表示してください</p>
	<p>住宅等にあっては住戸専用面積別内訳を記入してください</p>
	<p>ホテル等にあってはホテルの客室面積別内訳を記入してください</p>
	<p>容積率緩和を適用する場合は緩和する用途、内容に合わせた必要面積を記入してください</p>
配置図兼屋根伏図	<p>敷地内における建築物の位置を表示してください</p>
	<p>屋上部分の1/8算定を記載してください（令第2条第1項第6号ロ）</p>
	<p>平均GLからの各部分の高さを記載してください</p>
	<p>平均GLと設計GLとの関係を記載してください                      例：平均GL＝設計GL＝BM＋〇〇</p>
	<p>建物周囲の地盤高さを記載してください</p>
	<p>各境界から最小の有効離れ寸法を記載してください</p>
	<p>フェンス等の設置がある場合には明示してください</p>
	<p>地区計画による壁面後退線、有効後退距離を示してください</p>
	<p>植栽基盤の縁石高さ(0.4m以下)を記載してください</p>
	<p>壁面後退部分の勾配は3%までとしてください</p>

## 届出書類作成の留意点及び代表的な修正依頼の内容

	<p>建築基準法上の道路種別を記載してください</p> <p>例：法第42条第1項第1号道路、法第42条第2項道路、法第42条第3項道路</p> <p>また、認定幅員を記載してください</p>
ピット階平面図	人通口を明示してください
1階平面図	屋外階段の出入口の扉は開放性を阻害しない格子状のものとしてください
	屋外階段の有効幅員は900mm以上としてください
	屋外避難階段から2mの範囲を表示してください
	屋外階段にルーバーを設置する場合は、幅50mm以下、奥行80mm以下、間隔80mm以上としてください（階段手すりは格子状とする）
	敷地内通路幅員1500mmを明示してください
	駐輪場は適切な維持管理のため白線等で区域を示すか輪止めを設置してください
	平置き駐輪場の場合、1台あたり区域は2000mm×600mmとしてください
	避難器具の降下位置を明示してください
	避難器具の降下位置が敷地内通路に干渉しないよう調整してください
都安全条例第8条による区画が確保されているか確認してください	
各階平面図	室名を記載してください
	各居室面積を㎡表示で記載してください
	火気使用室の範囲を明示してください
	ガスコンロ、IHの別を記載してください
	避難はしごの設置位置を明示してください
	避難上有効なバルコニーは長辺が道路または幅員750mm以上の敷地内通路に面する必要があります
立面図（4面）	敷地境界との有効離れを明示してください
	避難上有効なバルコニーの開放性を示す寸法を表示してください
	屋外避難階段の開放性を示す寸法を表示してください
	地区計画による建築物の高さの最高限度を明示してください
	隣地斜線制限についての検討を記載してください
	例：隣地斜線制限については高さ31m以下のため適合
	道路斜線制限についての検討を記載してください
例：法第68条の5の5第2項適用	
断面図（2面）	切断位置を平面図に明示するか別途キープランを掲載してください
	敷地境界との有効離れを明示してください
	避難上有効なバルコニーの開放性を示す寸法を表示してください
	屋外避難階段の開放性を示す寸法を表示してください
	地区計画による建築物の高さの最高限度を明示してください
	隣地斜線制限についての検討を記載してください
例：隣地斜線制限については高さ31m以下のため適合	

## 届出書類作成の留意点及び代表的な修正依頼の内容

	道路斜線制限についての検討を記載してください 例：法第 68 条の 5 の 5 第 2 項適用
--	--

※建築基準法第 68 条の 5 の 5 第 1 項または第 2 項の認定を申請する場合は上記に加え、以下の留意点についてもご確認ください。

配置図兼屋根伏図	隣地境界線からの 250mm の後退線及び外壁までの有効寸法を示してください。(認定基準 3-(4))
	空地率の算定を記載してください(認定基準 3-(5)) 例：敷地面積－建築面積／敷地面積×100＝〇〇.〇〇%≥〇〇.〇〇%・・・OK
1 階平面図	幅員 90 cm 以上の通路を表示してください(認定基準 3-(1))
	火気使用室の壁および天井の仕様を記載してください(認定基準 3-(3)①) 例：壁下地(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 壁仕上げ(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 天井下地(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 壁仕上げ(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号
各階平面図	避難施設の出入口間の距離を示してください(認定基準 3-(2)①)
	避難上有効なバルコニーの有効寸法を記載し、2 m <sup>2</sup> 以上かつ居室面積の 3/100 以上であることを示してください(認定基準 3-(2)①ア)
	隔板の有効幅員(600mm 以上)を示してください(認定基準 3-(2)①才)
	火気使用室の壁および天井の仕様を記載してください(認定基準 3-(3)①) 例：壁下地(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 壁仕上げ(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 天井下地(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 壁仕上げ(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号
	斜線緩和を受ける階以上の階の壁および天井の仕様を記載してください(認定基準 3-(3)②) 例：壁下地(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 壁仕上げ(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 天井下地(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号 壁仕上げ(不燃 or 準不燃)／材料名、認定・告示番号
	避難上有効なバルコニーの有効面積に関する算定を記載してください(認定基準 3-(2)①ア) 例：バルコニー有効面積＝〇〇.〇〇m×〇〇.〇〇m＝〇〇.〇〇m <sup>2</sup> ※奥行き 75 cm 以上、室外機置場除く 居室面積＝居室 A〇〇.〇〇m <sup>2</sup> ＋居室 B〇〇.〇〇m <sup>2</sup> ＝〇〇.〇〇m <sup>2</sup> 〇〇.〇〇m <sup>2</sup> (バルコニー有効面積)≥〇〇.〇〇m <sup>2</sup> (居室面積×3/100) かつ 2 m <sup>2</sup>